

(様式第9)

島大医総第312号
平成23年10月4日

厚生労働大臣 殿

島根大学医学部附属病院長
小林 祥

島根大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	56.25 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	326人	9人	330.9人	看護補助者	51人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	17人	0人	17.0人	理学療法士	8人	臨床検査技師	30人
薬剤師	23人	0人	23.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	11人	2人	12.6人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	471人	32人	492.3人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	1人	その他の技術員	28人
歯科衛生士	1人	1人	1.7人	歯科技工士	1人	事務職員	158人
管理栄養士	6人	0人	6.0人	診療放射線技師	25人	その他の職員	31人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	487.8 人	8.3 人	496.1 人
1日当たり平均外来患者数	920.2 人	28.7 人	948.9 人
1日当たり平均調剤数			670.5 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	多チャンネルインピーダンス・pHモニタリング検査	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 一般的な治療に抵抗する胸やけや胸痛を有する患者の病因を調べる目的で行われる検査である。食道内へのあらゆる物質の逆流を24時間にわたり検索できる。			
医療技術名	大腸ESD	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 内視鏡的粘膜下層剥離術を大腸腫瘍に応用することで、2cm以上の病変でも一括に切除することが可能となり内視鏡治療での根治が期待でき、過大な手術侵襲を避けることができる。			
医療技術名	反復経頭蓋磁気刺激治療	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 パーキンソン病及び多系統萎縮症の症状改善に有効である。			
医療技術名	事象関連電位検査	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 高次脳機能の定量的、生理学的評価に有用である。			
医療技術名	関節鏡視下膝靭帯再建術	取扱患者数	83人
当該医療技術の概要 関節鏡(内視鏡)を用いた最小侵襲手術かつ、無輸血手術、無駆血手術を行い、早期リハビリテーション、早期社会復帰を可能にしている。			
医療技術名	人工股関節全置換術	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 クリーンルームで超清潔下に人工股関節置換術を行っている。			
医療技術名	脊髄誘発電位測定	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 手術中に脊髄誘発電位測定を行い、安全かつ有効な手術を可能にしている。			
医療技術名	顕微鏡視下手術	取扱患者数	53人
当該医療技術の概要 脊椎外科・手の外科や腫瘍再建外科において、顕微鏡を用いた神経の剥離、微小血管・神経の縫合や組織移植を可能にしている。			
医療技術名	顎骨の仮骨延長術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 仮骨延長を顎骨に応用することにより、腫瘍等による顎骨欠損症例、小顎症症例に骨移植を行うことなく骨形成が可能となる。			
医療技術名	造血幹細胞移植	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 骨髄移植などの造血器腫瘍の治療			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	46人	・膿疱性乾癬	3人
・多発性硬化症	27人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	29人	・原発性胆汁性肝硬変	8人
・全身性エリテマトーデス	99人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	18人
・再生不良性貧血	26人	・混合性結合組織病	27人
・サルコイドーシス	35人	・原発性免疫不全症候群	0人
・筋萎縮性側索硬化症	16人	・特発性間質性肺炎	15人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	98人	・網膜色素変性症	8人
・特発性血小板減少性紫斑病	35人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	19人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	76人	・神経線維腫症	2人
・大動脈炎症候群	13人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピルギヤ病	7人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	7人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	30人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	39人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	12人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	100人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4人
・後縦靭帯骨化症	20人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	8人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェグナー肉芽腫症	7人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	13人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	21人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	39人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
糖尿病に合併する骨粗鬆症の本態の解明に関する研究	山口 徹	内分泌代謝内科	845,000	補 文部科学省科学研究費補助金
尿毒素物質による慢性腎臓病の進展機序の解明と治療への応用	矢野 彰三	内分泌代謝内科	650,000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨形成低下に伴う骨粗鬆症の治療法の開発を目指した骨形成シグナルの解明	杉本 利嗣	内分泌代謝内科	1,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
終末糖化物質受容体と骨血管連関－骨質改善と動脈硬化防止を目指した病態生理の解明－	山本 昌弘	内分泌代謝内科	2,340,000	補 文部科学省科学研究費補助金
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度診断法の実用化に関する研究	杉本 利嗣	内分泌代謝内科	500,000	補 厚生労働省
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	杉本 利嗣	内分泌代謝内科	1,800,000	補 厚生労働省
平成22年度島根県地域勤務医師育成支援事業費補助金	杉本 利嗣	内分泌代謝内科	3,900,000	補 島根県
内科外来通院患者における生活習慣病と骨折リスクとの関係	山口 徹	内分泌代謝内科	800,000	補 骨粗鬆症財団
一般住民における骨折リスクと腎機能との関連性:FRAXTMを用いた横断研究	矢野 彰三	内分泌代謝内科	800,000	補 骨粗鬆症財団
好酸球性食道炎/好酸球性胃腸炎の疾患概念確立と治療指針作成のための臨床研究	木下 芳一	消化器内科	14,300,000	補 厚生労働省科学研究費
MFG-E8によるNF- κ B依存性シグナルの制御機構の解明と腸管の抗炎症薬開発	石原 俊治	消化器内科	520,000	補 文部科学省科学研究費補助金
食道扁平上皮の恒常性維持におけるNotchシグナルの役割と腺癌発症機構の解明	石村 典久	消化器内科	1,040,000	補 文部科学省科学研究費補助金
食道幹細胞を用いたバレット食道発生機序の解明	数森 秀章	消化器内科	1,950,000	補 文部科学省科学研究費補助金
multi-modality全周性センサーアレイの開発と食道運動能の解析	木下 芳一	消化器内科	2,990,000	補 文部科学省科学研究費補助金
糖尿病患者におけるカプサイシン感受性神経の食道運動障害に与える影響についての検討	古田 賢司	消化器内科	1,950,000	補 文部科学省科学研究費補助金
生活習慣病発症予知予防を目標とした中山間地域住民の長期追跡調査による臨床疫学研究	山口 修平	神経内科	130,000	補 文部科学省科学研究費補助金
うつ病における認知障害メカニズムと認知行動療法に関する脳機能画像研究	小野田 慶一	神経内科	780,000	補 文部科学省科学研究費補助金
急性心筋梗塞、脳卒中の急性期医療におけるデータベースを用いた医療提供の在り方に関する研	山口修平	神経内科	500,000	補 厚生労働科学研究費

小計18

脳血管障害及び認知症の予知予防に関する脳ドックコホート前向き研究	山口修平	神経内科	1,000,000	助	先進医薬研究振興財団
非小細胞肺癌のファーストライン治療の個別化	磯部 威	呼吸器・化学療法内科	2,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
質量分析計を利用した血中小麦タンパク質の網羅的分析と体内動態の解析	高橋 仁	皮膚科	1,560,000	補	文部科学省科学研究費補助金
難培養性細菌と真菌を含む皮膚微生物叢の分子生物学的手法を用いた網羅的解析法の確立	出来尾 格	皮膚科	1,430,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ω -5グリアジン欠失小麦株を用いた低アレルゲン化グルテンの作製と小麦アレルギー患者への臨床	森田栄伸	皮膚科	3,551,000	補	農林水産省
重症多型滲出性紅斑に関する調査研究	森田栄伸	皮膚科	1,500,000	補	厚生労働省 科学研究補助金
神経皮膚症候群に関する調査研究	古村南夫	皮膚科	1,100,000	補	厚生労働省 科学研究補助金
Survivinを標的とした活性型Flt3陽性造血腫瘍に対する新たな治療戦略開発	福田 誠司	小児科	3,510,000	補	文部科学省科学研究費補助金
小児の急性脳症と有機酸・脂肪酸代謝障害の関連に関する研究	山口 清次	小児科	3,770,000	補	文部科学省科学研究費補助金
小児に増加している脚気等ビタミン欠乏の実態と質量分析による病勢診断の確立	長谷川 有紀	小児科	2,340,000	補	文部科学省科学研究費補助金
タンデムマスと培養細胞を用いる小児薬剤の安全性検証法の開発	山口 清次	小児科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
カルニチン欠乏症の診断と病態解析に関する研究	小林 弘典	小児科	2,080,000	補	文部科学省科学研究費補助金
末梢リンパ球とタンデムマスを用いた簡便な脂肪酸代謝異常症酵素診断法の確立	虫本 雄一	小児科	1,560,000	補	文部科学省科学研究費補助金
先天代謝異常症の診断ネットワークを介した長期予後追跡システムの構築	山口清次	小児科	1,000,000	委	成育医療研究センター
タンデムマス導入による新生児マススクリーニング体制の整備と質的向上に関する研究	山口清次	小児科	14,400,000	補	厚生労働省
乳幼児突然死症候群(SIDS)における病態解明と臨床的対応および予防法開発とその普及啓発に	山口清次	小児科	820,000	補	厚生労働省
インフルエンザ脳症など重症インフルエンザの発症機序の解明とそれに基づく治療法・予防方法の確立	山口清次	小児科	1,500,000	補	厚生労働省
高グリシン血症の患者数把握と治療法開発に関する研究	山口清次	小児科	500,000	補	厚生労働省
先天性ケトン体代謝異常症(HMG-CoA 合成酵素欠損症、HMG-CoA リアーゼ欠損症、 β -ケトチオラーゼ欠損症、SCOT欠損症)の発症形態と患者数の把握 診断治療指針に関する研究	山口清次	小児科	1,500,000	補	厚生労働省
ナノ・テクノロジーを用いたプロピオン酸血症の新規治療法の開発	山口清次	小児科	700,000	補	厚生労働省

小児急性白血病の中脳神経浸潤の制御機構と新規治療標的分子の検索	福田誠司	小児科	1,500,000	補	母子健康協会
SurvivinとEvi-1による造血幹細胞の再生増殖制御機構の解析	福田誠司	小児科	1,000,000	補	先進医薬研究振興財団
地域医療における消化器癌の治療レベルの向上に関する研究	田中恒夫	消化器外科	3,900,000	補	島根県
高度低体温により誘導される蛋白質発現・リン酸化の網羅的プロテオミクス解析	織田 禎二	循環器・呼吸器外科学	4,160,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大気圧低温プラズマを用いた腱癒着防止・腱縫合部癒合促進技術の開発	内尾 祐司	整形外科	650,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大気圧低温プラズマによる骨折治療	熊橋 伸之	整形外科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
早期前立腺癌における根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	井川幹夫	泌尿器科	300,000	補	厚生労働省科学研究費
高悪性度筋相非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	井川幹夫	泌尿器科	250,000	補	厚生労働省科学研究費
塩酸ミノサイクリンの抗精神病薬効果に関する研究	宮岡 剛	精神科神経科	910,000	補	文部科学省科学研究費補助金
アカシジヤの病態解明に関する「覚醒時」ミオクロームスの電気生理学的研究	堀口 淳	精神科神経科	780,000	補	文部科学省科学研究費補助金
治療抵抗性統合失調症に対する抑肝散の有用性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化	堀口 淳	精神科神経科	62,400,000	補	厚生労働省
ゴナドトロピン分泌における大脳視床下部生理活性物質の作用機序に関する研究	宮崎 康二	産科婦人科	1,040,000	補	文部科学省科学研究費補助金
下垂体ゴナドトロピン特異的合成メカニズムの解明	金崎 春彦	産科婦人科	1,040,000	補	文部科学省科学研究費補助金
卵巣癌の染色体不安定性機構解明及び不安定性誘導因子を標的とした治療法の開発	中山 健太郎	産科婦人科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
LH、FSH合成・分泌制御機構の解明	折出 亜希	産科婦人科	1,430,000	補	文部科学省科学研究費補助金
卵巣癌3期におけるFISH法を用いた遺伝子コピー数の変化による新分類の試み	石川雅子	産科婦人科	650,000	補	文部科学省科学研究費補助金
GnRHパルス頻度依存性ゴナドトロピンLH、FSH特異的発現機構の解明	金崎春彦	産科婦人科	1,000,000	補	山口内分泌疾患研究振興財団
下垂体性腺刺激ホルモンLH、FSHの特異的合成機構の解明	金崎春彦	産科婦人科	3,000,000	補	武田科学振興財団
Type II子宮内膜癌におけるDigital Karyotypingを用いた新規増幅遺伝子、分子標的遺伝子の検索	中山健太郎	産科婦人科	3,000,000	補	武田科学振興財団
難治性子宮体癌におけるDigital Karyotypingを用いた新規分子標的遺伝子の検索	中山健太郎	産科婦人科	1,000,000	補	医科学応用研究財団
卵巣明細胞腺癌の新規増幅遺伝子ZNF217を標的とした治療法の開発	中山健太郎	産科婦人科	1,000,000	補	かなえ医薬振興財団

小計21

好酸球形副鼻腔炎の疫学、診断基準作成などに関する研究	川内秀之	耳鼻咽喉科	700,000	補	厚生労働科学研究費補助金
スギ花粉症治療薬候補となるコメの開発	川内秀之	耳鼻咽喉科	5,000,000	委	アグリ・ヘルス実用化研究促進プロジェクト
レーザーマイクロダイセクションを用いた網膜内発現タンパク質の局在及び定量解析	海津 幸子	眼科	650,000	補	文部科学省科学研究費補助金
光誘導性網膜防御機構の波長依存性と分子ネットワークについての網羅的解析	谷戸 正樹	眼科	3,120,000	補	文部科学省科学研究費補助金
μオピオイドの脊髄鎮痛と耐性における受容体細胞内動態の役割を明らかにする	齊藤 洋司	麻酔科	1,040,000	補	文部科学省科学研究費補助金
オキシコドンによるμオピオイド受容体細胞内動態と鎮痛効果の関連の解明	橋本 龍也	麻酔科	1,170,000	補	文部科学省科学研究費補助金
がん医療の均てん化に資する放射線治療の推進及び品質管理に係る研究	内田伸恵	放射線治療科	1,500,000	補	厚生労働省
おとり遺伝子を用いた腫瘍血管新生抑制による純国産型遺伝子治療法の開発	石橋 浩晃	歯科口腔外科	3,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌におけるAuroraキナーゼの分子病態の解明とその治療戦略への応用	近藤 誠二	歯科口腔外科	975,000	補	文部科学省科学研究費補助金
おとり遺伝子を用いた国産戦略による変形性関節症への新規遺伝子治療法の展開	石橋 浩晃	歯科口腔外科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
おとり遺伝子を用いた血管新生抑制による新規の癌遺伝子治療法の開発と応用	辰巳 香澄	歯科口腔外科	1,560,000	補	文部科学省科学研究費補助金
骨粗鬆症患者におけるビスフォスフォネート関連顎骨壊死の予防・治療指針の確立	関根浄治	歯科口腔外科	800,000	補	財団法人 骨粗鬆症財団
在宅を含む医療と福祉の安全安心な電磁環境基盤整備に関する研究	花田 英輔	医療情報部	4,849,000	補	文部科学省科学研究費補助金
診療プロセス管理のための時系列アクティブマイニングに関する研究	津本 周作	医療情報部	5,070,000	補	文部科学省科学研究費補助金
病院情報システム連動型注射薬情報確認システムの開発	花田 英輔	医療情報部	1,804,000	補	財団法人しまね産業振興財団
NUP98-HOX融合遺伝子を有する白血病における発症機序及び標的分子の解明	竹谷 健	輸血部	1,820,000	補	文部科学省科学研究費補助金
重度先天性骨大社疾患に対する遺伝子改変間葉系幹細胞移植治療法の開発 (重度先天性骨代謝疾患に対する細胞委嘱治療の臨床応用の確立)	竹谷 健	輸血部	5,000,000	委	文部科学省
消防、警察、医療機関の病院前救護体制の連携構築に関する研究	橋口 尚幸	救急部	1,000,000	補	財団法人 救急振興財団
バレット食道の病態に対する逆流胆汁と脂肪酸合成酵素の関わり	天野 祐二	光学医療診療部	1,040,000	補	文部科学省科学研究費補助金
インシデントレポートによるリスクコスト算出の精緻化と自動化に関する研究	廣瀬 昌博	病院医学教育研究センター	2,990,000	補	文部科学省科学研究費補助金

医療安全管理体制の整備に関する研究－認定病院を対象とした医療安全管理体制の実態と評価結果の関連に関する検証－	廣瀬昌博	病院医学教育研究センター	1,800,000	補	厚生労働省
国際交流助成(27th International Conference on International Society for Quality in Health Care, Paris)	廣瀬昌博	病院医学教育研究センター	250000	補	テルモ科学技術振興財団

小計2
合計81

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The American Journal of the Medical Sciences 339 (6) : 519-524, 2010 (平成22年6月)	Effects of treatment with risedronate and alfacalcidol on progression of atherosclerosis in postmenopausal women with type 2 diabetes mellitus accompanied with osteoporosis.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Sugimoto T. et al.	内分泌代謝内科
Hormone and Metabolic Research 42 (9) : 627-631, 2010 (平成22年8月)	The Calcium-sensing Receptor(CaR) is involved in strontium ranelate-induced osteoblast differentiation and mineralization.	Takaoka S, Yamaguchi T, Yano S, Yamauchi M, Sugimoto T	内分泌代謝内科
Metabolism Clinical and Experimental 59 (9) : 1252-1256, 2010 (平成22年9月)	Baseline serum total adiponectin level is positively associated with changes in bone mineral density after 1 year treatment of type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Sugimoto T	内分泌代謝内科
Journal of Bone and Mineral Metabolism 28 (5) : 554-560, 2010 (平成22年9月)	Relationship between treatments with insulin and oral hypoglycemic agents versus the presence of vertebral fractures in type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Yamamoto M, Sugimoto T	内分泌代謝内科
Clinical Endocrinology 73 (4) : 463-468, 2010 (平成22年10月)	Relationships between dimethylarginine and the presence of vertebral fractures in type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I, Yano S, Yamaguchi T, Notsu Y, Nabika T, Sugimoto T	内分泌代謝内科
Clinical Nutrition 29 (6) : 761-765, 2010 (平成22年12月)	Relationships between undercarboxylated osteocalcin and vitamin K intakes, bone turnover, and bone mineral density in healthy women.	Yamauchi M, Yamaguchi T, Sugimoto T.et.al.	内分泌代謝内科
Osteoporosis International 21 (12) : 2013-2018, 2010 (平成22年12月)	Baseline atherosclerosis parameter could assess the risk of bone loss during pioglitazone treatment in type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Sugimoto T. et al.	内分泌代謝内科
Osteoporosis International 22 (1) : 187-194, 2011 (平成23年1月)	Serum undercarboxylated osteocalcin was inversely associated with plasma glucose level and fat mass in type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Sugimoto T. et al.	内分泌代謝内科
Journal of Clinical and Experimental Hematopathology 50 (1) : 59-63, 2010(平成22年5月)	Small bowel perforation caused by Epstein-Barr virus-associated B Cell lymphoma in a patient with angioimmunoblastic T-cell lymphoma.	Takahashi T, et al.	血液内科
American Journal of Roentgenology (2010.05)	Evaluation of virtual CT sonography for enhanced detection of small hepatic nodules: a prospective pilot study	Okamoto E, Sato S,他	消化器内科 肝臓内科 光学医療診療部

小計10

Laboratory Investigation (2010.07)	Fibroblast-derived HB-EGF promotes Cdx2 expression in esophageal squamous cells	Rahman FB, Ishihara S, 他	消化器内科 肝臓内科 光学医療診療部
Immunology (2010.12)	Decreased production of IL-10 and TGF- β in TLR-activated intestinal B cells in SAMP1/Yit mice	Mishima Yo, Ishihara S, 他	消化器内科 肝臓内科 光学医療診療部
Scandinavian Journal of Gastroenterology (2010.11)	Heparin-binding EGF-like factor augments esophageal epithelial cell proliferation, migration and inhibits TRAIL-mediated apoptosis via EGFR/MAPK signaling	Rahman FB, Ishihara S, 他	消化器内科 肝臓内科 光学医療診療部
Journal of Gastroenterology and Hepatology (2011.01)	Usefulness of catheterless radiotelemetry pH monitoring system to examine the relationship between duodenal acidith and upper-GI symptoms	Tanimura T, Adachi K, 他	消化器内科 肝臓内科 光学医療診療部
International J Molecular Medicine (2011.03)	Autophagy is required for toll like receptor-mediated interleukin-8 production in intestinal epithelial cells	Li YY, Ishihara S, 他	消化器内科 肝臓内科 光学医療診療部
Diabetologia (2010.2)	Common variants at the GCK, GCKR, G6PC2-ABCB11 and MTNR1B loci are associated with fasting glucose in two Asian populations.	Yamaguchi S.	神経内科
Journal of Neuroscience Research (2010.5)	Transplantation of human mesenchymal stem cells promotes functional improvement and increases expression of neurotrophic factors in rat focal cerebral ischemia model.	Wakabayashi K.	神経内科
Brain Research (2010.5)	Microglia transplantation attenuates white matter injury in rat chronic ischemia model via matrix metalloproteinase-2 inhibition.	Narantuya D.	神経内科
Neuroreport (2010.10)	Feedback-related negativity is correlated with unplanned impulsivity.	Onoda K.	神経内科
Circulation (2010.10)	Blood pressure and hypertension are associated with 7 loci in the Japanese population.	Yamaguchi S.	神経内科
PLoS ONE (2010.7)	Human microglia transplanted in rat focal ischemia brain induce neuroprotection and behavioral improvement.	Narantuya D.	神経内科
Dementia and Geriatric Cognitive Disorders (2010.6)	The association of metabolic syndrome with executive dysfunction independent of subclinical ischemic brain lesions in Japanese adults.	Yamaguchi S.	神経内科
臨床神経生理学 (2010.1)	反復経頭蓋磁気刺激による運動関連皮質興奮性変化 -運動関連電位による検討-	松浦晃宏	神経内科
日本老年医学会雑誌 (2010.1)	t-PAを使用した高齢脳梗塞患者の検討	三瀧真悟	神経内科
日本老年医学会雑誌 (2010.5)	アルツハイマー型のアパシーに対するアリセプトの効果	日本老年医学会雑誌	神経内科

小計15

Med Sci Monit 2010;16:CS107-109	Successful endoscopic clipping for bleeding from colonic angiodysplasia in a case of Heyde syndrome.	Takahashi N, Tanabe K, Yoshitomi H, Sato M, Kitamura J, Sato H, Ishibashi Y, Shimada T, Oda T.	循環器内科
心エコー2010;11:44-51	左室・左房計測の意義と正しい撮り方	田邊一明、安達和子	循環器内科
心エコー2010;11:346-355	大動脈弁閉鎖不全	山口一人、田邊一明	循環器内科
心エコー2010;11:442-450	特発性拡張型心筋症という病名は、いかなる条件がそろえば可能か	高橋伸幸、田邊一明	循環器内科
臨床と研究 2010;87:601-605	臨床医に有用な超音波検査。各種臓器の超音波検査-心臓。	吉富裕之、田邊一明	循環器内科
Pharma Medica 2010; 28:121-124	心血管イベント抑制を目指して～心機能・動脈硬化性疾患の評価と降圧療法	田邊一明、藤田敏郎	循環器内科
拡張期学～Diastologyのすべて。186-189, 2010	左室拡張不全をきたす疾患-肺高血圧	佐藤正岳、田邊一明	循環器内科
環境感染誌 2010	MRSA薬適正使用のための薬学的な介入とその評価	磯部 威	呼吸器・化学療法内科
Int J Gen Med. 2010	Cough and asthma diagnosis: physicians' diagnosis and treatment of patients complaining of acute, subacute and chronic cough in rural areas of Japan.	Isobe T	呼吸器・化学療法内科
Photodermatol Photoimmunol Photomed. (2010 Dec)	Actinic lichen planus in a Japanese man: first case in the East Asian population.	Dekio Itaru	皮膚科
Acta Derm Venereol. (2010 Nov)	Cholinergic Urticaria Associated with Acquired Hypohidrosis: An Ultrastructural Study.	Chinuki Yuko	皮膚科
Int J Dermatol. (2010 Nov)	Usefulness and economic evaluation of ADSL-based live interactive teledermatology in areas with shortage of dermatologists.	Dekio Itaru	皮膚科
Acta Derm Venereol. (2010)	Solitary, Late-onset, Self-healing Langerhans Cell Histiocytosis.	Murata Susumu	皮膚科
J Dermatolog Treat. (2010 Aug)	The weight of a finger-tip unit of ointment in 5-gram tubes.	Dekio Itaru	皮膚科
Allergy. (2010)	Stratum corneum TARC level is a new indicator of lesional skin inflammation in atopic dermatitis.	Morita Bishin	皮膚科
Case Rep Dermatol. (2011 Mar)	The First Human Case of Rickettsia tamurae Infection in Japan.	Imaoka Kaoru	皮膚科

小計16

Journal of Chromatography B 878: 942-948, 2010 (2010年4月)	Simplified method for the chemical diagnosis of organic aciduria using GC/MS	Nakagawa K	小児科
Brain & Development 32: 362-370, 2010 (2010年5月)	Effect of heat stress and bezafibrate on mitochondrial β -oxidation: Comparison between cultured cells from normal and mitochondrial fatty acid oxidation disorder children using in vitro probe acylcarnitine profiling assay	Li H	小児科
Journal of Chromatography B 878: 1673-1676, 2010 (2010年6月)	In vitro probe acylcarnitine profiling assay using cultured fibroblasts and electrospray ionization tandem mass spectrometry predicts severity of patients with glutaric aciduria type2	Endo M	小児科
Journal of Chromatography B 878: 1669-1672, 2010 (2010年6月)	Heat Stress Deteriorates Mitochondrial β -Oxidation of Long-chain Fatty Acids in Cultured Fibroblasts with Fatty Acid β -Oxidation Disorders	Li H	小児科
Journal of Chromatography B 878: 3113-3118, 2010 (2010年11月)	Simple and rapid analytical method for detection of amino acids in blood using blood spot on filter paper, fast-GC/MS and isotope dilution technique	Kawana S	小児科
Molecular Genetics and Metabolism 102: 343-348, 2011 (2011年3月)	Clinical and molecular investigation of 19 Japanese cases of glutaric acidemia type 1	Mushimoto Y	小児科
日本小児科学会雑誌 114: 1073-1076, 2010 (2010年7月)	麻痺性イレウスを呈した驚愕病の姉弟例	吾郷真子	小児科
日本先天代謝異常学会雑誌 26: 50-54, 2010 (2010年7月)	タンデムマス導入による新生児マススクリーニングの新時代 タンデムマスによる新生児スクリーニングに対するin vitro probe acylcarnitine profiling assayによる脂肪酸 β 酸化能評価の有用性に関する検討	小林弘典	小児科
Diagnostic Pathology 25:5:75 (2010.10)	Cytokeratin20(CK20) and apomucin 1(MUC1) expression in ampullary carcinoma: correlation with tumor progression and prognosis	Yasunari kawabata	消化器外科
手術64:1547-1551 (2010.10)	当科で行う腹腔鏡下噴門側胃切除および全摘術における食道・空腸吻合の工夫	平原典幸	消化器外科
肝胆膵60:725-730 (2010.4)	塩酸ゲムシタピンが著効し20カ月の生存が得られたSister Mary Joseph's Noduleを伴った膵尾部癌の1症例	平原典幸	消化器外科
Critical Care Medicine 38:879-883 (2010.3)	Hemoperfusion with a high-mobility group box 1 adsorption column can prevent the occurrence of hepatic ischemia-reperfusion injury in rats	TetsuYamamoto	消化器外科
癌と化学療法37:2255-2257 (2010.11)	PSKのアポトーシス誘導メカニズムの解析	平原典幸	消化器外科
Circulation Journal (2010.6)	Acute Kidney Injury After Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting	Teiji Oda	循環器・呼吸器外科
胸部外科 (2010.7増刊号)	【特集】胸部外科手術の基本手技とコツ I. 心臓血管領域 5. 胸骨正中切開法	織田禎二	循環器・呼吸器外科

日本血管外科学会雑誌 (2010.8)	腰椎椎間板ヘルニア手術中に合併した左総腸骨動脈損傷の1例	花田智樹	循環器・呼吸器外科
The Annals of Thoracic Surgery (2011.2)	Is the use of effective orifice area index calculator appropriate in definition of prosthesis-patient mismatch?	Masao Yokoyama	循環器・呼吸器外科
Skeletal Radiology 39: 41-47, 2010	Evaluation of anterior talofibular ligament injury with stress radiography, ultrasonography and MR imaging.	Oae K	整形外科
Journal of Orthopaedic Science 15(2): 245-250, 2010	Optimum predrilled hole size for bone screws used in osteochondral fixation: in vitro biomechanical study and clinical case.	Nagatani T	整形外科
Archives of Orthopaedic and Trauma Surgery 130(2): 151-154, 2010	Calcaneal osteotomy for the treatment of plantar fasciitis.	Miyamoto W	整形外科
Japan Medical Association Journal 53(3)159-162, 2010	Current Status and Prevention of Sports Injuries in Japan: From the orthopedic viewpoint.	Uchio Y	整形外科
Journal of Orthopaedic Science 15(3): 305-309, 2010	Postoperative antimicrobial prophylaxis following spinal decompression surgery: is it necessary?.	Kakimaru H	整形外科
Clinical Biomechanics 25(8): 835-839, 2010	Optimally strong tendon repair using braided polyethylene strand: 2-strand heavy-gauge locking technique vs multiplestrand technique.	Yotsumoto T	整形外科
The knee18(3): 160-164, 2010	Correlation of changes in pain intensity with synovial fluid adenosine triphosphate levels after treatment of patients with osteoarthritis of the knee with high-molecular-weight hyaluronic acid.	Kumahashi N	整形外科
American Journal of Sports Medicine 38(2): 287-292, 2010	Novel approach to repair of acute achilles tendon rupture: early recovery without postoperative fixation or orthosis.	Yotsumoto T	整形外科
Eur Orthop Traumatol. 2010;1(2):75-79	Calcified angioleiomyoma of foot arising from the posterior tibial artery.	Kadowaki M	整形外科
Geriatric Medicine (老年医学) 48(3): 349-353, 2010	変形性関節症の治療: サプリメント(グルコサミン、コンドロイチンなど)の効果と問題点.	内尾祐司	整形外科
Geriatric Medicine (老年医学) 48(3): 379-392, 2010	変形性関節症・脊椎症の診断と治療の最前線(座談会).	内尾祐司	整形外科
整形外科看護 2010春季増刊: 102-107, 2010	膝関節・下腿の解剖と機能.	内尾祐司	整形外科
NHKきょうの健康大百科: 456-457, 2010	スポーツ障害.	内尾祐司	整形外科
クリニカルプラクティス: 149-158, 2010	青年壮年期の膝痛を鑑別する. 膝の痛み	内尾祐司	整形外科

CLINICAL CALCIUM 20(6): 872-880, 2010	小児期のスポーツと骨・関節障害.	内尾祐司	整形外科
整形外科専門医テキスト: 761-763, 2010	円板状半月.	内尾祐司	整形外科
整形外科専門医テキスト: 763-765, 2010	離断性骨軟骨炎.	内尾祐司	整形外科
カラーアトラス 膝・足の 外科: 205-209, 2010	タナ障害.	内尾祐司	整形外科
カラーアトラス 膝・足の 外科: 222-239, 2010	関節鏡視下手術.	内尾祐司	整形外科
カラーアトラス 膝・足の 外科: 240-261, 2010	高位脛骨骨切り術.	熊橋伸之	整形外科
カラーアトラス 膝・足の 外科: 396-410, 2010	アキレス腱断裂.	宮本 亘	整形外科
スキル関節鏡下手術アト ラス 膝関節鏡下手術. 76, 2010	関節鏡視下手術Q&A 半月板修復におけるラスピ ングの意義はどのようなものでしょうか?.	内尾祐司	整形外科
マルホ整形外科セミナー 放送内容集 第200集. 26-29, 2010	高位脛骨骨切り術の現状.	内尾祐司	整形外科
日本手の外科学会雑誌 26(2): 86-88, 2010	MRIによる手背の伸筋腱描出の有用性 Soap- Bubble MIP処理を用いて. .	平松由美子	整形外科
日本小児整形外科学会 雑誌19(1): 26-29, 2010	骨端線を越えて波及したBrodie骨膿瘍の2例.	今嶋由香理	整形外科
整形外科看護15(3): 298-303, 2010	パスで流れがわかる! 整形外科の周術期ケア 内 側膝蓋大腿靭帯(MPFL)再建術.	熊橋伸之	整形外科
関節外科29(9): 32-38, 2010	特集 変性膝関節症の治療戦略 薬物療法.	内尾祐司	整形外科
Osteoarthritis Update No.3: 2-5, 2010	変形性膝関節症の手術療法のオプション(総論).	内尾祐司	整形外科
日本整形外科学会雑誌 84(9): 537-540, 2010	システム化された自家培養軟骨移植術の有用性と その限界.	内尾祐司	整形外科
日本臨床整形外科学会 雑誌 35(2): 151-158, 2010	学校における運動器検診の現状と課題.	内尾祐司	整形外科
関節外科29 10月増刊 号: 148-157, 2010	膝関節疾患患者への手術適応と手術の実際.	熊橋伸之	整形外科

整形外科看護 秋季増刊: 184-191, 2010	肩関節周辺の骨折の手術と看護.	山本宗一郎	整形外科
整形外科看護 秋季増刊: 147-152, 2010	肩関節周辺骨折の病態生理と保存治療.	山本宗一郎	整形外科
中部日本整形外科学会雑誌 53: 1143-1144, 2010	内シャント作製後の重度スチール症候群による手指潰瘍の治療経験.	山上信生	整形外科
PROGRESS IN MEDICINE 30(12): 3031-3035, 2010	変形性膝関節症とロコモティブシンドローム.	内尾祐司	整形外科
別冊整形外科58: 81-84, 2010	鎖骨遠位端骨折に対する骨接合術: ポリエチレン編糸を用いた小侵襲手術	四本忠彦	整形外科
中部日本整形外科学会雑誌53(6): 1387-1388, 2010	手根管症候群における拡散テンソルMRIと正中神経終末潜時との関連性.	平松由美子	整形外科
中部日本整形外科学会雑誌53(5): 999-1000, 2010	前十字靭帯損傷の合併損傷に影響を与える因子.	桑田 卓	整形外科
関節外科29(9): 1008-1014, 2010	【変形性膝関節症の治療戦略】薬物療法.	内尾祐司	整形外科
中国・四国整形外科学会雑誌22(1): 65-69, 2010	リウマチ疾患周術期における生物学的製剤の有害事象.	青木 陽	整形外科
中国・四国整形外科学会雑誌22(1): 13-17, 2010	変形性肘関節症に対する関節鏡視下手術の治療成績.	井上尊人	整形外科
日本手外科学会雑誌 26(3): 182-183, 2010	上腕骨外側上顆炎におけるMRIと関節鏡所見の比較.	山本宗一郎	整形外科
日本手外科学会雑誌 26(3): 178-181, 2010	肘離断性骨軟骨炎に対する治療.	香川亮介	整形外科
中部日本整形外科学会雑誌53(2): 429-430, 2010	橈骨頭粉碎骨折に対するMini ACUTRAKを用いた観血的骨接合術.	門脇 俊	整形外科
British Journal of Urology International:106(1)44-8,2010.1	Impact of a novel,extended approach of perineal prostatectomy on surgical margins in localized prostate cancer.	Inoue S et al	泌尿器科
西日本泌尿器科 72(7):392-398,2010.07	内分泌抵抗性前立腺癌におけるDEC療法の局所治療効果-Magnetic resonance spectroscopic image(MRS)による評価	洲村 正裕	泌尿器科
西日本泌尿器科 72(4):184-189,2010.04	前立腺癌検出におけるreal-time tissue elastography(RTE)の役割	洲村 正裕	泌尿器科
泌尿器科外科 23(9)1377-1381,2010.09	浸潤性膀胱癌に対する経会陰・経腹アプローチ併用膀胱尿道全摘除術の経験	三井 要造	泌尿器科

西日本泌尿器科別冊 72(12):704-708,2010.12	急速な増大を示した再発性膀胱肉腫様がんの1例	三井 要造	泌尿器科
腎と透析69(5)708-710,2010.11	シャント瘻切除術に先立ちインドシアニングリーン(ICG)蛍光造影法に手血管走行を確認しえた1例	三井 要造	泌尿器科
西日本泌尿器科 73(2):43-50,2010.04	Real-time balloon inflation elastography(RBIE)による前立腺癌検出 前立腺針生検 における有用性	洲村 正裕	泌尿器科
西日本泌尿器科73(3):125-129,2011.03	CEAが腫瘍マーカーとして有用であった男子原発性尿道腺癌の1例	井上 圭太	泌尿器科
西日本泌尿器科73(3)114-117,2011.3	放射線治療と動注化学療法で局所制御が可能であった膀胱原発未分化がんの1例	有地 直子	泌尿器科
Clinical Neuropsychopharmacology (2011年1月)	Yi-gan san for treatment of charles bonnet syndrome (visual hallucination due to vision loss): an open-label study.	宮岡 剛	精神科神経科
European Psychiatry (2010年10月)	Characteristic brain hypoperfusion by 99mTc-ECD single photon emission computed tomography (SPECT) in patients with the first-episode schizophrenia.	和氣 玲	精神科神経科
産科と婦人科 別刷 vol.77No.3(2010年3月1日)288-295	「PACAPによる下垂体機能調節」	金崎春彦・折出亜希・宮崎康二	産科婦人科
BIOLOGY of REPRODUCTION 82,352-362(2010)Published online before print 21 October 2009.DOI 10.1095/biolreprod.109.080440	[Induction of Dual Specificity Phosphatase 1 (DUSP1)by Gonadotropin-Releasing Hormone(GnRH)and the Role for Gonadotropin Subunit Gene Expression in Mouse Pituitary Gonadotroph LbetaT2 Cells]	Indri N.Purwana,Haruhiko Kanasaki, Aki Oride,and Kohji Miyazaki	産科婦人科
Pituitary 13(3); 236-241, 2010	[Effects of metformin administration on plasma gonadotropin levels in women with infertility, with an in vitro study of the direct effects on the pituitary gonadotrophs.]	Oride Aki, Kanasaki Haruhiko, Indri N.Purwana, Miyazaki Kohji.	産科婦人科
Peptides31, 1748-1755, 2010	GnRH-induced PACAP and PAC1 Receptor Expression in Pituitary Gonadotrophs: A Possible Role in the Regulation of Gonadotropin Subunit Gene Expression	Indri N.Purwana, Haruhiko Kanasaki, Aki Oride,and, Mijiddorj Tselmeg, Shintani N, Hashimoto T, Baba A and Kohji Miyazaki.	産科婦人科
癌と化学療法:第37巻第4号2010年4月	『Paclitaxel+Carboplatin (TC)療法に抵抗性を示したIc期の成熟嚢胞性奇形腫悪性転化の2症例』	石川雅子,中山健太郎, Yeasmin Shamima,片桐敦子,飯田幸司,中山真美,宮崎康二	産科婦人科
島根県病院薬剤師会雑誌68,57-62 2010	『婦人科癌治療の最前線 治療・病態と治療法』	中山健太郎	産科婦人科

小計13

Journal of Microwave Surgery 28 53-56,2010	「過多月経に対するマイクロ波子宮内膜アブレーションの治療成績;働く女性にMEAは有効か?」	中山健太郎,石川雅子,青木昭和,宮崎康二	産科婦人科
現代産婦人科第58巻 No.2 221-224,2010	異所性妊婦術前診断と手術療法に関する検討	金崎春彦,中山健太郎,折出亜希,石川雅子,今村加代,山上育子,片桐敦子,青木昭和,宮崎康二	産科婦人科
日本婦人科腫瘍学会 pp.97-104,2010.Nov.	「卵巣がん治療ガイドライン2010年版	宮崎康二	産科婦人科
医薬ジャーナルpp.38-41,2010.Dec.	「インフォームドオ Consentのための図説シリーズ 卵巣がん」	宮崎康二	産科婦人科
日本婦人科腫瘍学会 金原出版 2010.Dec	「患者さんとご家族のための子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん治療ガイドラインの解説」	宮崎康二	産科婦人科
日本産科婦人科学会地方部会雑誌 Vol.54.pp.49-57,2010別刷	『地方大学産婦人科奮闘記-熊本から出雲へ-』	宮崎康二	産科婦人科
コナトトロピン 産科と婦人科 77巻 増刊号	「産婦人科 検査マニュアル	金崎春彦,宮崎康二	産科婦人科
産科と婦人科 77:292-295 2010	【産婦人科検査マニュアル】腫瘍 腫瘍マーカー LDH, LDHisozyme	中山健太郎,宮崎康二	産科婦人科
金原出版,2010	患者さんと家族のための子宮頸癌、体がん、卵巣癌治療ガイドラインの解説 Q 免疫療法は効果があるのでしょうか?	中山健太郎,宮崎康二	産科婦人科
金芳堂,京都,2010	子宮頸部、体部の細胞診、組織診、コアローテーション産婦人科(豊田長康、平松祐二、宮崎康二編集)	中山健太郎	産科婦人科
Cancer 2010 Jun 1;116(11):2621-34. PubMed PMID: 20336784.	[Gene amplification CCNE1 is related to poor survival and potential therapeutic target in ovarian cancer.]	Nakayama N, Nakayama K, Yeasmin S, Ishikawa M, Katagiri A, Iida K, Miyazaki K	産科婦人科
Gynecol Oncol. 2010 Jun;117(3):409-16. Epub 2010 Mar 31. PubMed PMID: 20359736.	[Expression of nuclear Notch3 in cervical squamous cell carcinomas and its association with adverse clinical outcomes.]	Yeasmin S, Nakayama K, Rahman MT, Rahman M, Ishikawa M, Iida K, Otsuki Y, Kobayashi H, Nakayama S,	産科婦人科
International Journal of Oncology 2010 May;36(5):1097-103. PubMed PMID: 20372782.	[NAC1, a potential stem cell pluripotency factor: expression in normal endometrium, endometrial hyperplasia and endometrial carcinoma.]	Ishikawa M, Nakayama K, Yeasmin S, Katagiri A, Iida K, Nakayama N, Miyazaki K	産科婦人科
International Journal of Clinical Oncology 2010 Apr;15(2):179-83. Epub 2010 Mar 10. PubMed PMID: 20217451.	[Prolonged long-term survival of low grade endometrial stromal sarcoma(LGESS) patients with lung metastasis following treatment with medroxyprogesterone acetate(MPA).]	Nakayama K, Ishikawa M, Nagai Y, Yaegashi N, Aoki Y, Miyazaki K	産科婦人科

European Journal of Gynecological Oncology 2010;31(5):586-9. Review.PubMed PMID: 21061810.	[Exaggerated placental site mimicking placental site trophoblastic tumor: case report and literature review.]	Yeasmin S, Nakayama K, Katagiri A, Ishikawa M, Nakayama N, Miyazaki K	産科婦人科
Clin Cancer Res. 2010 Apr 1;16(7):1997-2008. Epub 2010 Mar 16. PubMed PMID: 20233889; PubMed Central PMCID: PMC2848895.	[DNA copy numbers profiles in affinity-purified ovarian clear cell carcinoma.]	Kuo KT, Mao TL, Chen X, Feng Y, Nakayama K, Wang Y, Glas R, Ma MJ, Kurman RJ, Shih IeM, Wang TL.	産科婦人科
Gan To Kagaku Ryoho. 2010 Apr;37(4):747-52. Japanese. PubMed PMID: 20414041.	[Paclitaxel + carboplatin (TC)-resistant stage Ic squamous cell carcinomas arising in mature cystic teratomas of the ovary].	Ishikawa M, Nakayama K, Yeasmin S, Katagiri A, Iida K, Nakayama N, Miyazaki K.	産科婦人科
Int J Clin Oncol. 2010 Oct;15(5):440-6. Epub 2010 Apr 24. PubMed PMID: 20419386.	[Concomitant postoperative radiation and chemotherapy following surgery was associated with improved overall survival in patients with FIGO stages III and IV endometrial cancer.]	Nakayama K, Nagai Y, Ishikawa M, Aoki Y, Miyazaki K	産科婦人科
Arch Gynecol Obstet. 2010 May 13. [Epub ahead of print] PubMed PMID: 20464408.	[Microwave endometrial ablation is a highly efficacious way to emergently control life-threatening uterine hemorrhage.]	Nakayama K, Rahman MT, Rahman M, Ishikawa M, Yeasmin S, Katagiri A, Iida K, Nakayama N, Aoki S, Miyazaki K.	産科婦人科
Science. 2010 Oct 8;330(6001):228-31. Epub 2010 Sep 8. PubMed PMID: 20826764.	[Frequent mutations of chromatin remodeling gene ARID1A in ovarian clear cell carcinoma.]	Jones S, Wang TL, Shih IeM, Mao TL, Nakayama K, Roden R, Glas R, Slamon D, Diaz LA Jr, Elstein B, Kinzler KW, Leescu VE, Papadopoulos N.	産科婦人科
Gynecol Oncol. 2010 Dec;119(3):469-78. Epub 2010 Sep 24. PubMed PMID: 20869761.	[Biological role and prognostic significance of NAC1 in ovarian cancer.]	Nakayama K, Rahman MT, Rahman M, Yeasmin S, Ishikawa M, Katagiri A, Iida K, Nakayama N, Miyazaki K.	産科婦人科
Ultrasound in Obstetrics and Gynecology, 2010(in Press).	[Persistent pulsation with blood flow in fetal great vessel after complete cardiac arrest.]	Showa Aoki, Kohji Miyazaki.	産科婦人科
Kagawa J.Obstet Gynecol vol.12,No.1,pp7-18,2010	[胎児血流計測からみた胎児well-being評価法について]	青木昭和	産科婦人科
European Journal of Clinical & Medical Oncology, 2010	Multiple pelvic lymph node metastasis in stage Ia1 microinvasive cervical cancer and literature review.	Nakayama K; Miyazaki K,	産科婦人科
産科と婦人科・第77巻・3号p288-295.2010年3月1日	「PACAPによる下垂体機能調節」	金崎春彦,折出亜希,宮崎康二	産科婦人科

日本産科婦人科学会地方部会雑誌 Vol.54,pp.49-57,2010別刷	『地方大学産婦人科奮闘記-熊本から出雲へ-』	宮崎康二	産科婦人科
産科と婦人科 77、No.3、288-295、2010 特集 「生殖機能調節の新しい視点」	「PACAPによる下垂体機能調節」	金崎春彦,折出亜希,宮崎康二	産科婦人科
口腔咽頭科	進行舌癌根治手術症例の術後会話機能および嚥下機能に関する検討	青井典明	耳鼻咽喉科
アレルギーの臨床(2010年4月20日)	アレルギーの臨床:この30年の進歩と展望	川内秀之	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌(2010年5月1日)	急性咽頭蓋炎のマネージメント-当科の治療経験から-	川内秀之	耳鼻咽喉科
炎症と免疫(2010年6月)	舌下免疫療法	川内秀之	耳鼻咽喉科
診断と治療(2010年7月1日)	咽喉頭異常感症	川内秀之	耳鼻咽喉科
鼻アレルギーフロンティア(2010年9月)	就学年齢のスギ花粉症患者における抗ヒスタミン薬治療の有効性～アレルギー症状と認知機能における調査～	川内秀之	耳鼻咽喉科
頭頸部外科(2010年)	小児頸部腫脹の取り扱い	片岡真吾	耳鼻咽喉科
免疫アレルギー(2010年)	Q-32. 肥満細胞の脱顆粒とサイトカイン産生に及ぼすH1受容体拮抗薬の作用	清水香奈子	耳鼻咽喉科
アレルギーの臨床(2011年1月)	6.対症療法のポイント	川内秀之	耳鼻咽喉科
Rhinology(2010年9月)	From ancient Greek medicine to EPOS	H.Kawauchi	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床(2010年12月)	異常眼球運動を呈した多発性硬化症例—神経耳科学的検討の有用性—	川内秀之	耳鼻咽喉科
あたらしい眼科(2011年2月)	著名な視力回復がみられた外傷性眼球脱臼の1例	原 克典	眼科
あたらしい眼科(2011年3月)	ラタノプロスト単独投与への点眼治療薬変更による眼圧下降効果の多施設検討	高井保幸	眼科
Jpn J Radiol (2010年4月)	Potential hippocampal region atrophy in diabetes mellitus type2:a voxel-based morphometry VSRAD study	Kazutohsi Kamiyama,Akihiko Wadai,Takeshi Yoshizako,Nobuko Yamamoto,Youji Tsutie,Hajime Kitagaki	放射線科

Magn Reson Imaging (2010年9月)	Apparent diffusion coefficient of line scan diffusion image in normal prostate and prostate cancer-comparison with single-shot echo planner image	Yoshizako T,Wada A,Uchida K,Hara S,	放射線科
ANTICANCER RESEARCH(30:2959-2968:2010)	Postoperative External Beam Radiotherapy for Resected Pancreatic Adenocarcinoma:Impact of Chemotherapy on Local Control and Survival.	Nobue Uchida,	放射線治療科
Int J Radiat Oncol Biol Phys (77:743-750:2010)	Patterns of Radiotherapy Practice for Pancreatic Cancer in Japan: Results of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG) Survey	Nobue Uchida,	放射線治療科
Thermal Medicine, (25: 54-56, 2009)	エッジ効果の発生しない半球型RF電極の開発	森山正浩, 内田伸恵, 川口篤哉, 横川正樹, 池田新,	放射線治療科
Cardiovascular Anesthesia(2010.	id esophageal left ventricular short axis view monitoring using real-time 3-dimensional transesophageal echocardiography in OPCAB surgery.	Toyota K	麻酔科
臨床麻酔(2010.5)	巨大子宮筋腫合併かつ高度肥満妊婦の帝王切開術の麻酔経験	森 英明	麻酔科
J Can Anesth(2010.8)	Continuous local anesthetic infusion through ultrasound-guided rectus sheath catheters	Shido A	麻酔科
麻酔(2010.10)	持続末梢神経ブロックによる整形外科術後疼痛管理:超音波ガイド下に留置したカテーテルの利用	河野文子	麻酔科
Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	A fish bone in the tongue: A report of a case.	Yoshiki Nariai	歯科口腔外科
Oral Medicine & Pathology	Chronic focal sclerosing osteomyelitis accompanied with bony mass protrusion into the maxillary sinus: a case report.	Aya Yoshino	歯科口腔外科
心エコー (2010年4月1日)	【弁膜症の評価を見直す 昔と何が変わったか】病態評価 大動脈弁閉鎖不全症	山口一人	検査部
Clin Exp Neuroimmunol (2010年5月)	Microglia as immune effectors of the central nervous system: Expression of cytokines and chemokines	Nagai A	検査部
島根医学検査 (2010年5月10日)	3次元心エコー法	吉富裕之	検査部
島根医学検査 (2010年5月10日)	動脈硬化患者における血中BNP値	宇野誓子	検査部
島根医学検査 (2010年5月10日)	ノロウイルス迅速測定試薬の有用性の検討	谷口由紀	検査部
島根医学検査 (2010年5月10日)	子宮頸部細胞診における新評価方法の検討ーベセスダシステム2001報告様式導入に向けてー	中村真由子	検査部

小計16

島根医学検査 (2010年5月10日)	過去6年間における血液培養分離菌の推移	野津泰子	検査部
島根医学検査 (2010年5月10日)	島根県における尿沈渣鏡検技術の施設間是正への取り組み	松田親史	検査部
島根医学検査 (2010年5月10日)	過去5年間における抗菌薬使用量の変化と緑膿菌耐性率の推移	柳楽慎	検査部
臨床と研究 (2010年5月20日)	特集「臨床医に有用な超音波(エコー)検査」-各種臓器の超音波検査「心臓」	吉富裕之	検査部
Eur J Haematol (2010年6月)	Effective ex vivo expansion of hematopoietic stem cells using osteoblast-differentiated mesenchymal stem cells is CXCL12 dependent	Mishima S	検査部
日本臨床細胞学会島根県支部会誌 (2010年6月30日)	細胞診が診断に有用であった気管支原発性リンパ腫の1症例	足立絵里加	検査部
PloS one (2010年7月23日)	Human microglia transplanted in rat focal ischemia brain induce neuroprotection and behavioral improvement	Nagai A	検査部
検査と技術(増刊号) (2010年10月1日)	イムノクロマトグラフィ-「免疫反応と臨床検査 2010」I章 総論-免疫反応の基礎 B.検査法2)	柴田 宏	検査部
臨床検査 (2010年11月15日)	【脳卒中】Cystatin C	長井 篤	検査部
日本検査血液学会雑誌 (2010年11月30日)	血液形態標準化案の比較検証	三島清司	検査部
医学検査 (2010年12月25日)	茸成分を含む健康食品中のβ-グルカン濃度測定と経口摂取後の血中濃度変化について	柴田 宏	検査部
感染症学雑誌 (2011年1月20日)	S領域の変異株によるHBs抗原(EIA法)偽陰性の1例とHBs抗原関連試薬の反応性	松田親史	検査部
FEBS J (2011年2月)	Lysophosphatidylcholine modulates fibril formation of amyloid beta peptide	Nagai A	検査部
Medical Technology (2011年2月15日)	特集「知っておきたい!自動化時代の落とし穴」免疫・血清検査装置	柴田 宏	検査部
医学検査 (2011年2月25日)	当院における白血球分類目視再検基準の検討-日臨技プロジェクト研究による統一した末梢血液像の再検基準を用いて-	庄野智子	検査部
心エコー (2011年3月1日)	特集「計測値を検証する」僧帽弁狭窄の評価	吉富裕之	検査部
医学検査 (2011年3月25日)	US-3100R plusとU-SCANNER IIを用いた一般検査の運用と効果	陶山洋二	検査部

臨床病理 (2011年3月25日)	多重焦点バーチャルソフトを用いた尿沈渣鏡検技術の施設間差是正への取り組み	松田親史	検査部
Journal of Anesthesia (2010年6月)	Ultrasound-guided peripheral nerve blocks for anterior cruciate ligament reconstruction effect of obturator nerve block during and after surgery	Shinichi Sakura, Kaoru Hara, Junichi Ota, Saki Tadenuma	手術部
麻酔科学レクチャー (2010年9月)	末梢神経ブロックに関連する神経損傷と発生時の対処	佐倉伸一	手術部
Anesthesia and Intensive Care(2011年1 月)	Ultrasound-guided lateral femoral cutaneous nerve block: comparison of two methods	Kaoru Hara, Shinichi Sakura, Akemi Shido	手術部
Leukemia (2010年11月)	High frequencies of simultaneous FLT3-ITD, WT1 and KIT mutations in hematological malignancies with NUP98-fusion genes	Taketani T	輸血部
島根医学,2010	変化した病理診断の役割と病理医の現状	丸山理留敬	病理部
日本遠隔医療学会雑誌 2010年9月	遠隔医療インフラ整備の地域差とその克服ー自治体広域LAN活用の可否ー	花田英輔 他	医療情報部
International Journal of Dermatology, November. 2010	Usefulness and economic evaluation of ADSL-based live interactive 1 teledermatology in areas with shortage of dermatologists.	Dekio I., Hanada E.他.	医療情報部
ペインクリニック(2010.10)	区域麻酔と抗血栓両方のガイドラインについて	中谷俊彦	緩和ケア
Clinical Journal of Sports Medicine 20(6): 458- 463, 2010	Measurement characteristics of a force-displacement curve for chronic patellar instability.	Egusa N	リハビリテーション部
Monthly Book MEDICAL REHABILITATION 120: 1-8, 2010	リハビリテーションと転倒・骨折.	蓼沼 拓	リハビリテーション部
Hip Joint 36: 556-558, 2010	大腿骨頸部のherniation pitに対して骨移植術を行った1例.	馬庭壯吉	リハビリテーション部
嚥下リハビリテーション. 認知症ケア事例ジャーナル3(1): 21-26, 2010	認知症による先行期嚥下障害の摂食	家田 雄	リハビリテーション部
TDM研究(2010.4.15)	島根県内の病院におけるTDMの実施状況 ～アンケート調査(平成19年度実績)より～	玉木宏樹	薬剤部
Journal of Pharmacy and Pharmacology(2010.5.1)	Change in tolbutamide permeability in rat jejunum and Caco-2 cells by Sho-saiko-to (Xiao Chai Hu Tang), a Chinese traditional medicine	西村信弘	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌 (2010.7.1)	進行性腎細胞がん患者におけるスニチニブの副作用調査と適正使用への取り組み	玉木宏樹	薬剤部

小計16

Gan To Kagaku Ryoho(2010年1月)	Lymphoma-current status of molecular targeting treatment and alternation in treatment strategy after the WHO classification change	Suzumiya J	腫瘍センター	小計1 合計210
---------------------------------	--	------------	--------	--------------

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小林 祥泰			
管理担当者氏名	検査部長 長井 篤	手術部長 佐倉 伸一	放射線部長 北垣 一	薬剤部長 直良 浩司
	看護部長 秦 美恵子	総務課長 安友 政男	医療サービス課長 田村 和彦	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療サービス課 手術部 薬剤部 検査部 放射線部 看護部	カルテ等病歴資料は、入院・外来別に1患者1ファイル方式で管理し、エックス線写真は放射線部で患者毎に管理を行っている。なお、平成18年9月の電子カルテ導入後、電子化されたものは医療情報システムのデータベース上で、患者IDをキーにして管理されている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	
	高度の医療の提供の実績	医学部医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課	
	高度の医療の研修の実績	医学部総務課	
	閲覧実績	医学部医療サービス課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医療サービス課及び薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の体制第一項各号及び第九の二十	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医学部医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医学部医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医学部医療サービス課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医学部医療サービス課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医学部医療サービス課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部医療サービス課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医学部医療サービス課	

三 第 一 項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医療サービス課
------------------	------------------------------------	------------

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第一項各号及び第九條の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医学部医療サービス課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医学部医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医学部医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医学部医療サービス課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医学部医療サービス課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医学部医療サービス課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長	安藤 慎吾
閲覧担当者氏名	医療サービス課長	田村 和彦
閲覧の求めに応じる場所	附属病院 2階	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	67.9 %	算定期間	平成22年 4月 1日～平成23年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		8,974 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,143 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,244 人
	D: 初診の患者の数		18,426 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>はじめに 「医療安全文化を維持向上させるために」</p> <ol style="list-style-type: none">1 安全管理に関する基本指針 島根大学医学部附属病院における安全管理に関する基本方針2 医療事故防止の基本3 医療事故防止に関する基本用語4 インフォームド・コンセント5 安全管理体制に関する組織6 医療事故を未然に防止するための体制7 医療事故等が発生した場合（緊急時）の対応8 医療従事者と患者との間の情報の共有9 患者からの相談への対応10 職員研修11 医療安全推進のために必要なその他の事柄12 関連マニュアル等	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ol style="list-style-type: none">1 医療安全管理委員会 原則／毎月・1回 (平成 2 2 年度実績 1 2 回)2 リスクマネジャー会議 原則／毎月・1回 (平成 2 2 年度実績 1 2 回) <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1 島根大学医学部附属病院医療安全管理委員会規則<ol style="list-style-type: none">1) 医療事故等の防止対策に関すること2) 医療事故等の把握、分析、対処改善及び評価に関すること3) 医療事故に係る患者及びその家族への対応に関すること4) 安全管理のための職員の教育・研修に関すること5) 医薬品の安全使用に関すること6) 医療機器の安全使用に関すること	

<p>7) その他、医療安全管理に関すること</p> <p>2 島根大学医学部附属病院リスクマネージャーに関する要項</p> <p>1) 安全確保のための点検の実施に関すること</p> <p>2) 当該診療科等の構成員に対し、安全確保のための指導の実施に関すること</p> <p>3) リスクマネージャー会議への参画に関すること</p> <p>4) その他、医療事故防止に関すること</p>	
<p>③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況</p>	<p>年7回</p>
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1 医療事故被害者遺族の立場から医療者に望むこと</p> <p>2 ビスフォスフォネート使用中患者の口腔ケア —顎骨壊死の危険性について— 本院で使用する血糖測定器の変更について、血糖測定器操作説明会</p> <p>3 フェンタニル貼付剤の管理及び適正使用について 医療用麻薬の使い方 —オピオイドローテーションについて—</p> <p>4 医療事故・ヒヤリハットの情報収集による紛争の解決について</p> <p>5 MRI検査の実際 どうする？ 耐性菌感染</p> <p>6 除細動器の安全使用について —除細動器の正しい使用方法と実技—</p> <p>7 MEラウンドで気づいたNPPV使用時の注意点 NPPVに必要な知識とアセスメント</p> <p>※ その他の医療機器安全使用研修及び新規・中途採用者の医療安全研修外</p>	
<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況</p>	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1 血糖測定器の変更</p> <p>従来院内共通で使用していた血糖測定器（ワンタッチウルトラ）は、メンテナンスの不備、機種適応範囲外患者への使用など問題点があり、関係診療科、安全管理委員会で検討し、研修会后、10月よりニプロスタットストリップへ変更した。この際台数を56台から34台へ減らし、メンテナンスを確立しMEセンターで管理することとした。</p>	

2 患者確認マニュアルの作成

院内のあらゆる部署で共通認識として患者誤認防止に取り組むよう、8月にマニュアルを作成し、周知した。

平成23年1月には、院内33部署へ安全訪問し、患者確認の状況について調査した。

3 「インフォームドコンセントについて」の改定

現行の「インフォームドコンセントについて」を見直し、改定した。特に「複数の診療科で治療・検査等を行う場合は、原則として複数の診療科の者がインフォームドコンセントの場に同席する」こととした。

また、インフォームドコンセントが適切に行われ、記録に残っていることを監査するよう診療録管理委員会に依頼することとした。

4 散薬の分包紙への分包薬剤量の追加表示を開始

従来散薬調剤時には薬品名のみ印字していたが、与薬時に薬剤量の確認が行えるように平成23年2月より散薬の分包紙への分包量表示を行うこととした。

5 NPPV人工呼吸器の運用方法の統一

レンタルで保有しているNPPV人工呼吸器（以下バイパップビジョン）の運用方法を統一し、MEセンターの臨床工学技士が1日1回ラウンドを行い消耗品等の管理も行うこととした。

6 休日及び時間外予定入院患者の救急事務受付での確定登録実施

これまで休日・時間外の予定入院患者に対して医師及び看護師による入院確定登録を行っていたが、救急事務受付で実施するよう業務改善した。

7 「手術部位のマーキングマニュアル」を作成し周知

平成22年8月に「手術部位のマーキングマニュアル」を作成し周知した。また、平成23年1月には、マニュアルに基づき10診療科の14事例についてマーキングの現状をチェックした。1診療科に対しては、意見書を出し指導した。

8 外来化学療法副作用チェックシートの活用

従来、一部の診療科で活用していたチェックシートを改良し、外来化学療法を予約している外来患者すべて（RA、クローン病を除く）に活用することとした。

9 鋼製小物管理システム導入

鋼製小物のトレーサビリティの実現、品質管理及び安全性の向上のため鋼製小物管理システムを導入した。

10 電子カルテ上の外来受付一覧画面、予約外来患者一覧画面、診察状況参照画面において同姓同名患者がいる場合、患者誤認防止のため「★」が表示されたシステムとした。

<p>11 人工呼吸器回路交換時にMEセンターの臨床工学技士が関与することとなった。</p> <p>12 医療事故防止対策マニュアル改訂（第10版）を作成した</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（1名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>・ 所属職員： 専任（1）名 兼任（9）名</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療に係る安全管理のための委員会の事務に関する事 2 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと 3 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと 4 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと 5 医療安全管理に係る連絡調整に関する事 6 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関する事 7 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関する事 8 安全管理に関する教育・研修に関する事 9 その他医療安全対策の推進に関する事 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	□有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1 院内感染の防止に留意し、感染等発生の際にはその原因を速やかに特定、制圧、終息を図ること。2 院内感染対策に関する院内全体の問題点を把握して改善策を講じるため組織横断的な感染対策専門部会を設置。3 全職員を対象に感染防止の基本的な考え方及びマニュアルについて周知徹底を図るための職員研修会の実施。4 院内感染発生時は、その状況及び患者への対応等を管理者に報告し、原因究明し、改善策を立案し、実施するため全職員に周知。5 感染症発生時の速やかな報告体制と対応。6 患者への情報提供と説明。7 院内感染対策マニュアルの整備。	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1 感染対策室の運営、業務の企画に関すること。2 感染の予防に関すること。3 予防対策実施の指導に関すること。4 感染予防の教育に関すること。5 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること。6 その他感染対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 回
<p>・ 研修の主な内容：（22年度 12回）</p> <ol style="list-style-type: none">1 回：「感染対策について－当院における標準予防策及び感染経路別予防策について－」（新規採用者の医療安全及び感染対策研修会）2 回：「感染対策の基本再学習 ①標準予防策 ②経路別予防策 ③カテーテル関連尿路感染対策」（看護師対象研修会）（8月に2回実施）3 回：「スキンケアのための基礎知識」（看護部スキルアップ研修会・第1回感染対策のための研修	

会全体研修)

- 4回：「感染対策の基本を確認しよう！」（時間雇用看護師対象 医療安全との合同研修会）（9月に2回実施）
- 5回：「看護師のためのやさしい微生物学講座 ①グラム陰性桿菌と耐性菌（緑膿菌・ESBLなど）②グラム陽性球菌と耐性菌（MRSA・MRCNSなど）」
- 6回：「感染対策について－当院における標準予防策及び感染経路別予防策、手洗い、血液体液曝露、廃棄物等について－」（中途採用者の医療安全及び感染対策）（2回実施 10月、3月）
- 7回：「結核－その臨床と感染対策－」（第2回感染対策のための研修会 全体研修）「DVDによる各部署での研修・結核 －その臨床と感染対策－」
- 8回：「感染症診療のロジック－医療関連感染・耐性菌対策編－」（第3回感染対策のための研修会 全体研修）「DVDによる各部署での研修・感染症診療のロジック－医療関連感染・耐性菌対策編－」
- 9回：「MRI検査の実際」「どうする？耐性菌感染」(医療安全・感染対策のための研修会全体合同研修)

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 1 通常感染情報 Web にて把握し、該当部署へ指導に行き、副室長に報告をする。
 - 2 特異的なものは、検査部より連絡が入り、該当部署へ行き指導をし、副室長に報告をする。
場合により関係者を招集して会議を行う。
 - 3 感染状況は、他部署に対しても感染予防の啓発を促す。
 - 4 定期的または事例発生時にラウンドし、状況調査時に提示した上で指導をする。

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 40 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(院内全体の研修会)</p> <ol style="list-style-type: none">1 医員研修会「処方時の留意点、副作用報告について」2 「はじめよう！がんの痛みのマネジメント」～医療用麻薬の基礎知識～3 がん化学療法副作用勉強会「抗がん剤の漏出性皮膚障害について4 がん化学療法勉強会「癌治療における漢方薬の役割」 <p>(薬剤部内の研修会)</p> <ol style="list-style-type: none">1 癌性疼痛管理におけるアセトアミノフェン2 「インシデント・アクシデント事例に学ぶ薬剤業務のリスクマネジメント ー薬薬連携を例にしてー3 製品説明会 34回	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 ・ 無)</p> <p>・ 業務の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none">1 医薬品の採用2 医薬品の購入3 調剤室における医薬品の管理4 病棟・各部門への医薬品の供給5 外来患者への医薬品使用6 病棟における医薬品の管理7 入院患者への医薬品の使用8 医薬品情報の収集・管理・提供9 手術・麻酔部門10 集中治療部門11 輸血・血液管理部門12 血液透析部門	

13 画像診断部門，臨床検査部門

14 歯科領域

15 他施設との連携

16 事故発生時の対応

17 教育・研修

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)

・ その他の改善のための方策の主な内容：

(情報収集の方法)

- 1 新規採用時：新規採用薬については，医薬品添付文書・インタビューホーム・製品概要・各種パンフレット・関連文献（集）等の収集。

また，医薬品添付文書・インタビューホーム等が更新された場合は，最新情報を収集・更新している。

- 2 随時：緊急安全性情報（厚生労働省「医薬品医療機器等安全性情報」）の収集と院内提供をしている。

(情報の周知方法)

- 1 緊急安全性情報，医薬品・医療機器等安全性情報，DSU等は各診療科，中央・特殊診療施設，看護部等の院内関係部署へ配布する。

薬事専門部会結果（薬剤の採用及び取り消し等）については，院内関係部署へ文書にて情報提供し，さらに新規採用薬については，効能・効果，用法・用量，副作用などの情報も一緒に提供している。

上記の緊急安全情報，医薬品・医療機器等安全情報，薬事専門部会結果は院内Web（薬剤部ホームページ）でも情報提供を行っている。

- 2 (財)日本医療機能評価機構からの共有すべき情報（医薬品関係）をリスクマネージャー会議で周知している。

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1 がん治療サーモロンRF8装置の特性（放射線照射装置との併用）2 除細動器の安全使用について - 除細動器の正しい使用方法と実技 -3 人工呼吸器（加温加湿器）の安全使用について4 保育器の安全使用について5 放射線医療機器の安全管理について6 人工心肺装置「安全な心筋保護とは」 血液浄化装置「インシデントより考える安全な血液浄化とは」7 MEラウンドで気づいたNPPV使用時の注意点 NPPVに必要な知識とアセスメント8 MRI検査の実際	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 ((有) ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1 始業点検，終業点検2 外部委託によるオーバーホール3 外部委託による定期保守・緊急保守（故障・修理）	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(情報収集の方法)</p> <ol style="list-style-type: none">1 平成19年3月30日医政指発第0330001号第4.3に基づき，製造販売業者等から不具合が生じた機器に関する情報を収集している。2 臨床工学技士の研修会及び講習会参加により種々情報を収集している。	

3 島根県出雲保健所から、人工呼吸器の医療安全対策に係る情報を収集している。

4 インターネットによる医療事故情報にて情報を収集している。

(情報の周知方法)

1 上記により収集した情報を医療機器安全管理責任者から病院長に報告をすると共に、該当設置部署、会計課及びME機器管理室に文書及び口頭にて周知している。

2 医療機器の安全使用のための研修会にて情報の周知を行っている。